

第 9 章

港 湾 課

環日本海時代をめざして
—秋田の海の玄関として—
〈港 湾〉



空から見た秋田港の全景

1. 事務分掌

区 分	事 務 分 掌	人 員	備 考
総務担当	1. 課内における連絡調整に関すること。 2. 予算・決算に関すること。 3. 給与・旅費・物品・文書に関すること。	5	補佐 1 主査 1 主任 2 主事 1
管理担当	1. 大規模プロジェクトに関すること。 2. 港湾法に関すること。 3. 海岸法に関すること。 4. 公有水面埋立法に関すること。 5. 空港に関すること。	3	主席 1 補佐 2
空港担当	1. 空港に関すること。	1	主席 1
港湾担当	1. 港湾の補修、海岸侵食対策等事業に関すること。 2. 港湾の改修、環境整備事業等に関すること。	6	主席（技術総括） 1 補佐（計画担当） 1 主査 2 主任 1 技師 1
計画担当	1. 港湾の計画、調査に関すること。 2. 十和田湖の計画調査に関すること。	4	主査 1 主任 2 技師 1

2. 港湾の概要

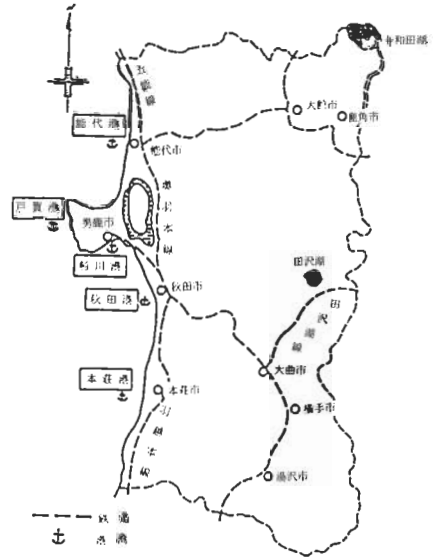
本県には、重要港湾として秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾として本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は県内の物流の拠点として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を、船川港は男鹿地域の物流基地及び国家石油備蓄基地としての整備を、さらに能代港は県北地域の物流基地及び能代火力発電所運転開始に対応した整備を進めています。

地方港湾の本荘港は海洋性レクリエーション基地としての機能拡充を、また、戸賀港は避難港としての機能の充実を図る整備を進めています。

近年港湾に対する要請は、高度化・多様化しておりますが、豊かで潤いのある港湾空間の創造のため、各港の特色を生かした港湾の整備を進めていきます。

秋田県港湾図



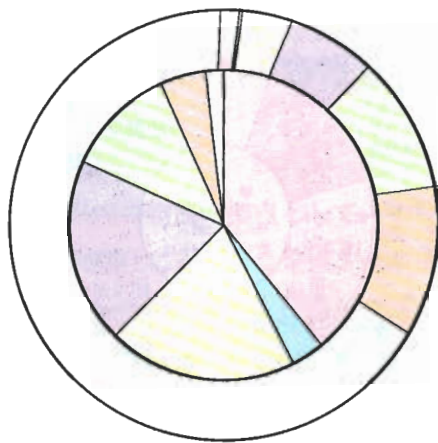
入港船舶および海上出入貨物（平成4年）

（単位：隻・総トン・トン）

種	甲	港名	入 港 船 舶		海 上 出 入 貨 物		
			隻 数	総トン数	合 計	出 貨	入 貨
甲	種	秋 田 港	3,878	6,052,406	6,596,777	574,193	6,022,584
		船 川 港	1,145	808,660	1,216,462	404,884	811,578
		能 代 港	629	437,475	481,642	4,775	476,867
乙	種	本 荘 港	749	4,252	783		783
		戸 賀 港	3,325	52,489	329		329
		計	9,726	7,355,282	8,295,993	983,852	7,312,141

入港船舶トン数別比較 (平成4年)

県内全港

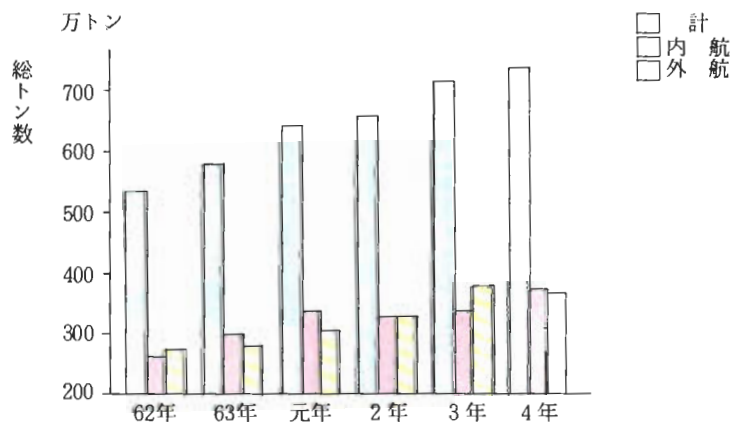
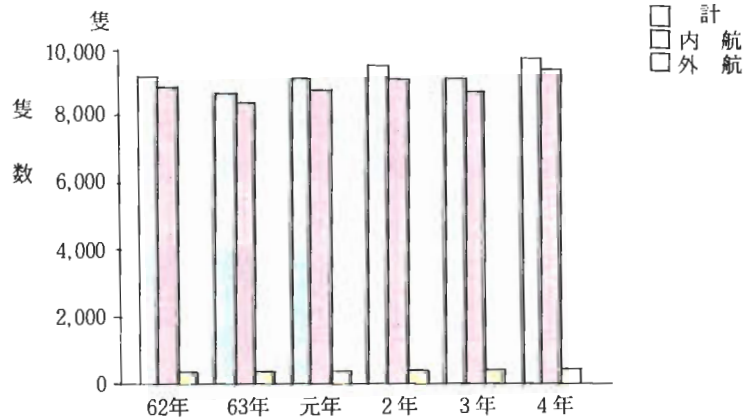


	計	隻数	計	総トン数
10,000総トン以上	1.4%	133	39.4%	2,899,464
6,000総トン以上	0.3%	33	3.2%	238,598
3,000総トン以上	3.7%	362	20.2%	1,483,817
1,000総トン以上	6.9%	672	19.5%	1,435,769
500総トン以上	10.2%	993	11.3%	833,129
100総トン以上	11.1%	1,078	4.7%	346,406
5総トン以上	66.4%	6,455	1.6%	118,099
合計	100.0%	9,726	100.0%	7,355,282

外枠：隻数・内枠：総トン数

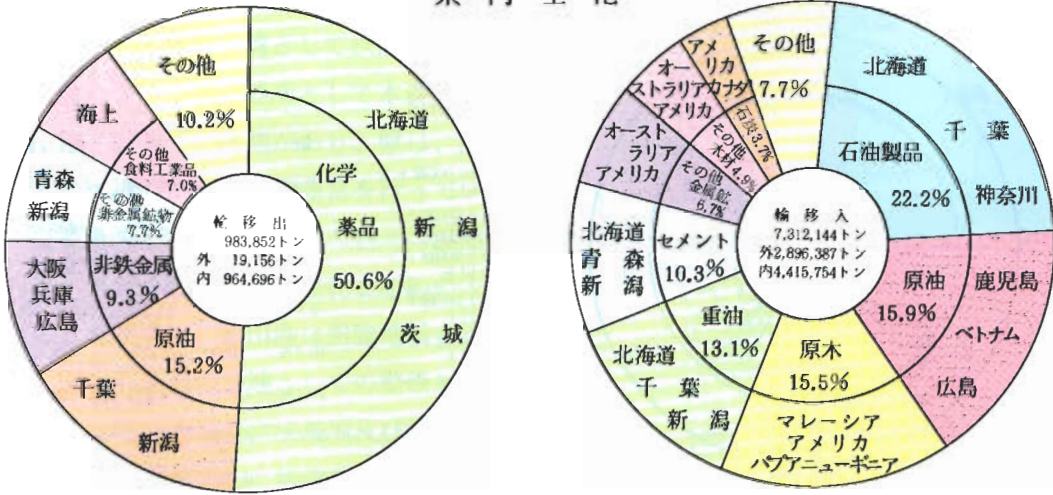
入航船舶のうごき

県内全港



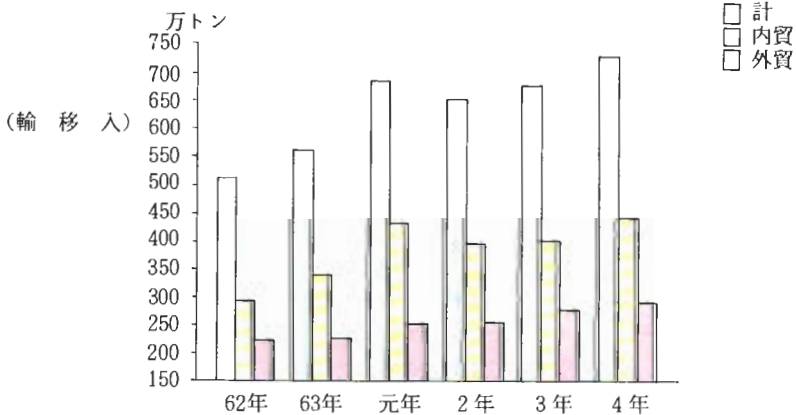
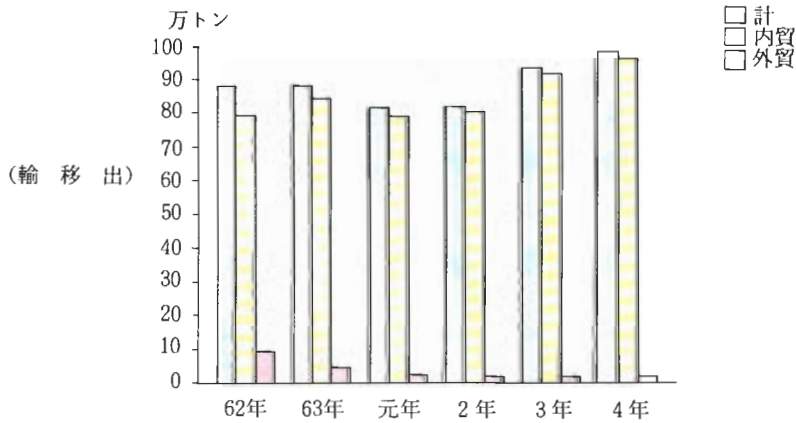
出入貨物品種別比較 (平成4年)

県内全港



海上出入貨物のうごき

県内全港



3. 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

【秋田港】

- (1) 県内の物流の拠点として、また、対岸貿易の拠点として物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を進めます。
- (2) 地元活力を生かした豊かで潤いのある港湾環境の形成を図ります。
- (3) 新たな工業用地及びふ頭用地等の基盤施設の整備を進めます。
- (4) 海洋性レクリエーション基地としてマリーナの整備を進めます。

「平成5年度主要事業」

防波堤 132m、岸壁（-7.5~-13.0m）138m、航路・泊地（-4.5~-13.0m）、道路、緑地等の整備を計画しています。

【船川港】

- (1) 地域振興のための小型船だまりの整備を進めます。
- (2) マリーナ、緑地等、海洋性レクリエーション基地としての整備を進めます。

「平成5年度主要事業」

護岸（防波）98m、物揚場（-2m）63m、船揚場（改良）79m、緑地等の整備を計画しています。



船川港



船川マリーナ

[能代港]

- (1) 能代火力発電所を擁したエネルギー基地として、防波堤の整備を進めます。
- (2) 県北地域の物流基地として、防波堤、大型岸壁等の整備を進めます。
- (3) 港湾環境施設として緑地の整備を進めます。

「平成5年度主要事業」

防波堤 6m、防波堤（改良） 51m、岸壁（-13m） 13m、岸壁（-5m） 55m、緑地等の整備を計画しています。

[本荘港]



本荘マリーナ

海洋性レクリエーション基地として、マリーナの整備と小型船だまりの整備を進めます。

平成5年度主要事業

護岸（防波）	119m
船揚場	25m

[戸賀港]

地域産業振興の拠点として小型船だまり、防波堤などの整備を進めます。

平成5年度主要事業

船揚場	5m
防波堤（改良）	144m
物揚場（-2~-4m）	74m



戸賀港

4. 海岸事業

運輸省所管の海岸延長は約46.5kmであり、うち26.5kmが、津波、高潮、波浪などの被害から海岸を防護する海岸保全区域に指定されています。

海岸事業では、日本海特有の季節風浪から県土を保全する海岸侵食対策や快適で魅力ある海浜空間を創出する海岸環境整備等の事業を推進します。

海岸環境整備

海浜における日常レクリエーションの需要に対応し、快適で魅力ある施設の整備を進めます。



風光明媚な岩礁地帯の船川港鶴ノ崎地区においては、磯遊び、海岸観察など、訪れる人が憩いの場として利用できるよう遊歩道、駐車場の整備を進めます。

能代港落合地区では、快適で良好な海水浴場として、利用できるよう休憩所などの整備を進めます。



海岸侵食

地域住民が海辺とふれあえ、安全で景観に優れた海岸空間の創出を図るため、戸賀港戸賀地区で、「ふるさと海岸整備モデル事業」により、多面的な機能をもった階段式護岸、潜堤等の整備を進めます。

また、秋田港向浜地区、本荘港水林地区、戸賀港浜塩谷地区で海岸汀線の後退を防止するため、離岸堤を整備します。



ふるさと海岸整備モデル事業パース



ふるさと海岸整備モデル事業（突堤）

5. 主要プロジェクト概要

〔秋田港ポートルネッサンス 21 事業〕

秋田港の港湾機能を多角的に活用するため、民間事業（第三セクター）を導入しながら、豊かな港湾空間の形成と地域活性化の核としての整備を進めます。

＜事業計画の概要＞

(1) 事業期間

昭和 63 年度～平成 12 年度

(2) 施設整備計画

1) 公共整備施設

① 臨港道路及び緑地等の基盤施設の整備を進めている。

② 民間施設と一体的に活用でき、冬でも緑豊かで潤いのある施設として、覆い付緑地を平成 5～6 年度で整備する。（建築面積 2,000㎡、延床面積 2,400㎡で、外装はガラス張りを計画している）

2) 第三セクター整備施設

① 本事業のシンボルとして「ポートタワー・海の展示館」の整備を進めており、平成 6 年 3 月オープンを予定している。

（展望室床高 100m を計画している。）

② コンベンションセンター、ポートセンター、港湾複合機能ビル等を今後整備する。

3) 民間整備施設

ホテル、商業施設、鉄道駅等を今後整備す



ポートタワーと覆い付緑地パース



覆い付緑地内部パース

る。

(3) 想定事業費 310 億円

〔秋田港飯島地区公有水面埋立事業〕

飯島地区公有水面を埋立て、大王製紙(株)を誘致するための工業用地の造成とともに、将来を展望した岸壁や公共ふ頭用地の整備を一体的に推進する事業です。

(1) 事業概要

1) 埋立面積

全体計画面積 48.0haで、工業用地 40.4ha (工場用地 32.9ha、産業廃棄物処分場 7.5ha) 及び公共用地 7.6haを造成する。

2) 施設整備計画

公共施設として、(-11m) 岸壁 1 バース・(-7.5m) 岸壁 2 バース及び造成地に道路・緑地を整備する。

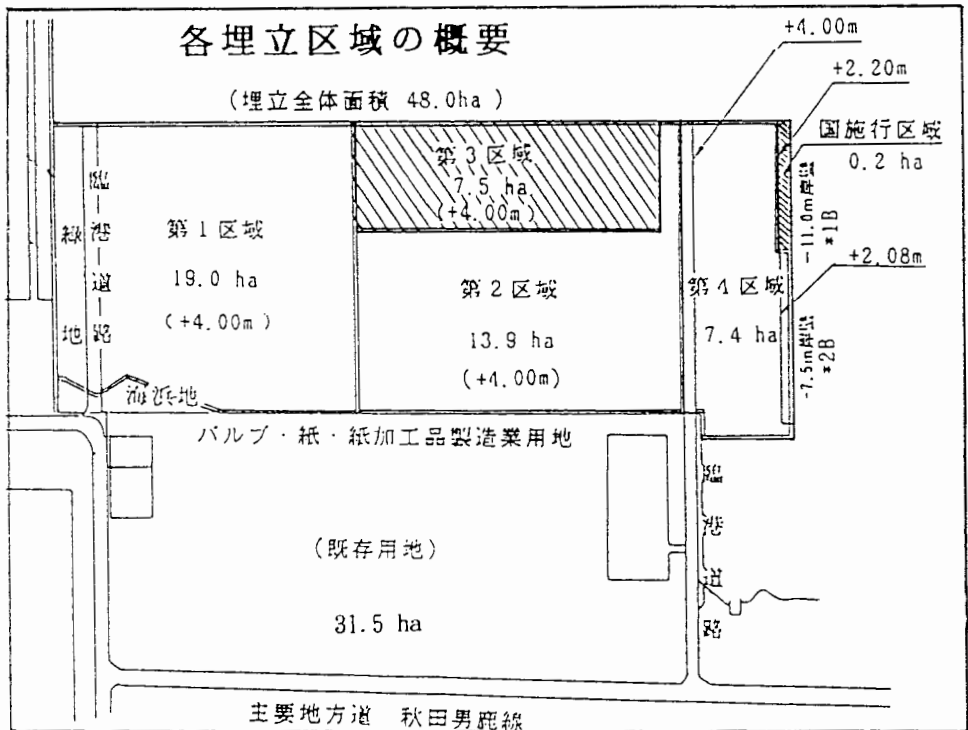
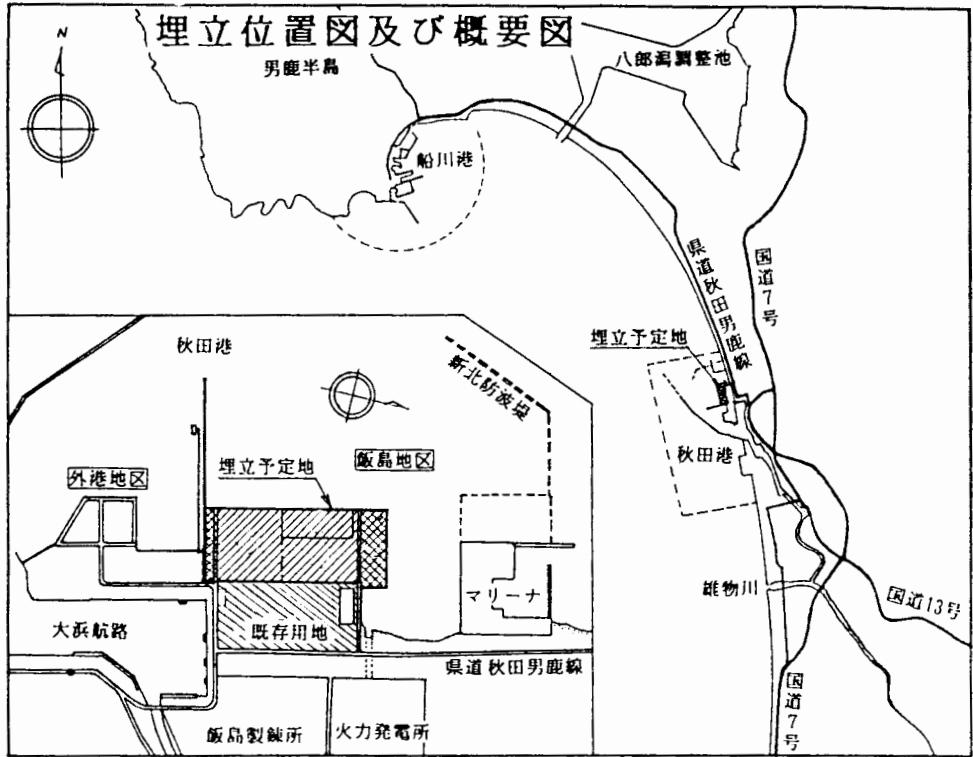
(2) 平成 5 年度事業

平成 4 年度に引き続き、護岸及び岸壁の整備を進め、外周施設を概成させ、一部埋立事業を実施する計画である。

(3) 工場操業開始予定

平成 7 年度より工場建設に着手し、平成 9 年 7 月に操業を開始する予定である。





[能代火力発電所用地整備事業]

国のエネルギー政策に呼応した石炭火力発電所を建設・運転するために必要な用地164ha（第一区域110ha、第二区域54ha）を造成するための事業です。

第一区域の埋立用地は既に東北電力に売却し、現在は平成5年6月の1号機及び平成6年12月の2号機の運転開始に向け、第二区域である火力発電運転に伴い生ずる石炭灰の処分場の整備を進めています。



第2節 空 港



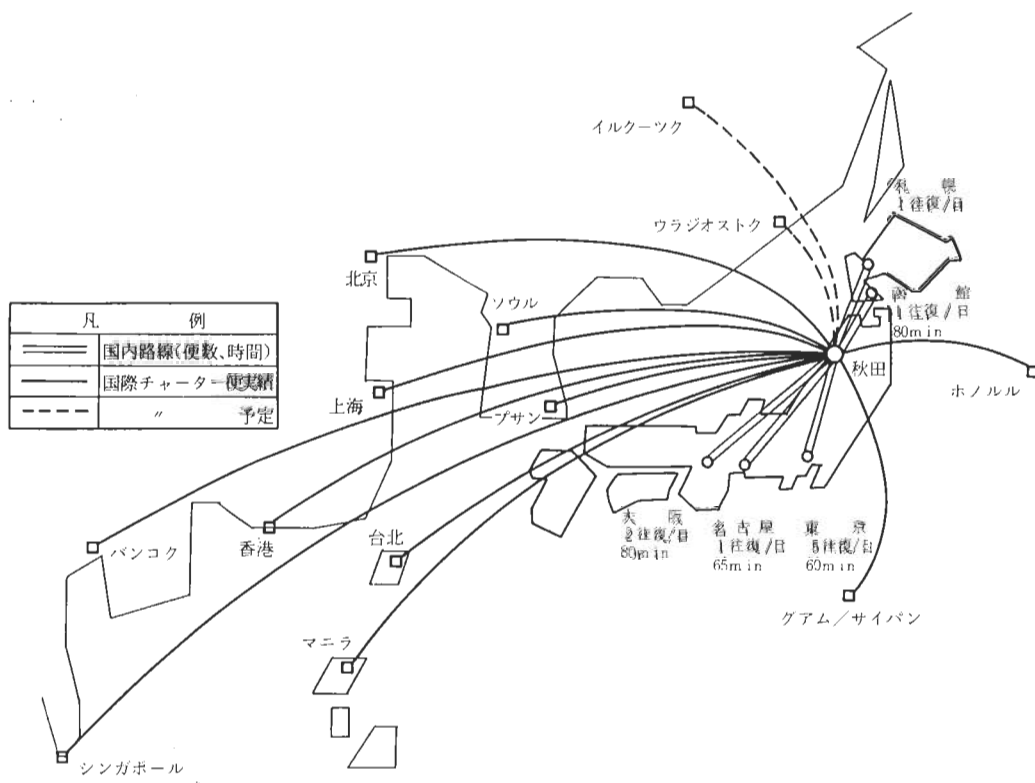
空港の概要

本空港は、県都秋田市の南東 25km に位置し、面積約 160ha、東北地方最大級の長さ 2,500m の滑走路と、計器着陸装置 (ILS) などの新鋭設備を備えている。

空港を取りまく環境は、600ha の広大な県立公園として緑豊かな都市公園型空港となっている。

就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋、函館の 5 路線、12 便の往復運航されているが、利用客数も順調に伸び、開港以来平成 4 年度まで延利用客数 977.9 万人に達し、平成 2 年度には年間 100 万人となり、着実に県民の足として定着し、最近では、国際定期便の乗り入れを目指す動きも活発化している。

○ 国内・国際線航路



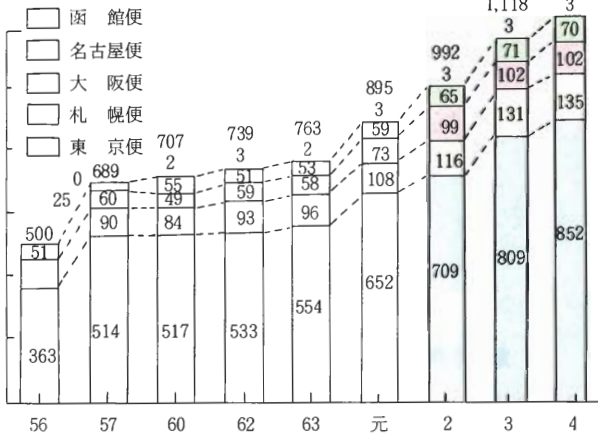
空 港 施 設 の 概 要

設 置 者	運輸大臣	場 周 道 路	長/6,455m 巾/5.5m
管 理 者	秋田県知事	駐 車 場	17,800㎡(500台収容)
空港の名称	秋田空港	照 明 施 設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田県河辺郡雄和町椿川	無 線 施 設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯 39° 36' 46"		(超短波全方向性無線標識/距離測定装置)
	東経140° 13' 19"	庁舎官制塔	一式
空港の標高	93.0m	通 信 施 設	一式
空港の種別	第2種B級	気 象 施 設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,588,900㎡(告示面積)	消 防 施 設	40t 水槽 8 基(化学消防車 1 台)
着 陸 帯	長/2,620m 巾/300m	除 雪 施 設	除雪機械等一式
滑 走 路	長/2,500m 巾/60m	ターミナルビル	3 階建(延床面積/11,005㎡)
誘 導 路	長/2,900m 巾/30m	貨 物 ビ ル	2 棟
エ プ ロ ン	長/240m 巾/190m(4 パース)	給 油 施 設	200kl / 2 基
排 水 施 設	一式		

1,169千人

秋田空港からの国際チャーター便の実績

単位：回



	56~61	62	63	元	2	3	4	合計
韓 国	5		1	4	4	14	23	51
中 国	16	1	1		1	1	2	22
台 湾	5			1		1	2	9
香 港	18	4	6	4	2	5	5	44
シンガポール	7				1		4	12
ハ ワ イ	8	1	1	2	2	3	1	18
グアム/サイパン	13			1		2	0	16
そ の 他	8	1				2	7	18
合 計	80	7	9	12	10	28	44	190

貨 物 取 扱 実 績

(単位：トン)

		56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年
貨 物	国内線	1,063	1,674	2,229	2,383	2,771	2,833	3,255	4,122	3,928	4,706	4,834	4,693
	国際線												
	計	1,063	1,674	2,229	2,383	2,771	2,833	3,255	4,122	3,928	4,706	4,834	4,693
郵 便	国内線	210	213	371	864	1,003	1,315	2,068	2,265	2,675	2,706	2,552	2,454
	計	210	213	371	864	1,003	1,315	2,068	2,265	2,675	2,706	2,552	2,454
合 計		1,273	1,887	2,600	3,247	3,774	4,148	5,323	6,387	6,603	7,412	7,387	7,147
指 数		100	148	204	255	296	326	418	502	519	582	580	561